



こんにちは

# 村田 けい子 です

2020.9.25  
№270

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

秋季号

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267 (56) 2868

## 「蓼科牛ブランド」を守る決議 挙がる！！ 「佐久広域食肉流通センター存続に向けた陳情書」趣旨採択に。

### 農畜産業の振興及び蓼科牛ブランドを守る決議

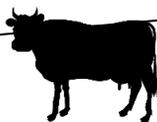
信州蓼科牛は立科町農業の基幹産業の一つで長い年月をかけ、生産者や関係者の皆様とともに盛り上げてきました。その成果として、ブランドの向上や地域ばかりでなく全国の皆様にも認知されております。立科町議会として、大切なブランド牛「信州蓼科牛」を今後も守るためつぎのとおり取り組んでいくことを決意します。

1. 立科町しあわせプラン～第五次立科町振興計画～に基づき農畜産業の振興を一層推進します。
2. 「信州蓼科牛」を佐久地域の大切なブランド牛として、関係者と連携してさらなる発展を目指します。

以上決議します。

令和2年9月17日

長野県立科町議会



### 【佐久食肉センター利用の畜産農家】

小諸市 1戸/佐久市 4戸/立科町 10戸 35%  
他佐久地域 4戸/佐久地域外 10戸/合計29戸

### 〈蓼科牛の生産額〉

- ・立科町の畜産農家（'20. 2. 1）  
11戸/679戸 1.6%
  - ・畜産全体 6億5千万円  
うち肉用牛 2億9千万円  
／農業生産額 24億1千万円
- わずか1.6%の畜産農家が12%の販売額を生み出している。町の基幹的産業の一つ。
- ・町の牛の出荷頭数/佐久450頭/北信中野443頭  
松本490頭 '（19年度）

### 佐久広域連合の負担金（令和2年度）主なもの

（負担金額は人口割80%、均等割り20%で算出）

- ・食肉センターに負担している金額／  
全体 8,321.3万円/町 380万円
- 施設整備費 421.8万円 145万円
- ・介護認定審査会 8,781.5万円 421.7万円
- ・火葬場 7,244.6万円 331.1万円
- ・地域医療運営費 1億4000万円 639.8万円  
（川西赤十字病院・医療センター）

9月議会最終日に「農畜産業の振興及び蓼科牛ブランドを守る決議」が全員一致で上がり、議会の決意を示すものとなりました。

9月議会に「佐久食肉流通センター存続に向けた陳情書」がJA佐久浅間肉牛部会より提出され、議会総務経済常任委員会（委員長/今井 清議員）で審議され、「蓼科牛を守ってほしい」の熱い意志を尊重して趣旨採択となり、これを受けて議会が議決。議会決議は今まで例がなく議会の決意を示すものとなりました。

両角町長も6月の佐久広域議会の首長会議で、蓼科牛の歴史や重要性について熱く語り、他の10自治体の首長にも「蓼科牛を守ってほしい」と強く要望したとのこと。佐久食肉センターの経営で広域連合の負担金が重くなっていることから「継続は難しい」「3月末までの譲渡を前提に、受け手がなければ廃止」の方向が全員一致で議決。副連合長の立場から「継続は難しい」という決議に賛成。新聞報道もあったことから陳情が提出されたものです。

村田は「どのように蓼科牛を守るのか」「佐久のと畜場がなく守れるのか」と打開策の提案をしました。

### 【佐久広域連合のデータあれこれ】

#### 【構成市町村】

小諸市・佐久市・小海町・川上村・南牧村・北相木村  
南相木村、佐久穂町・軽井沢町・御代田町・立科町  
2市9町村 人口20万5千人



## 秋本番！

今月のパチリ

朝夕めっきりと涼しくなり、コオロギの声に秋の訪れを感じています。しかし本格的な秋はヤッパリコレ！

毎朝「落ちていないかな」と木の下を探し回るのが秋のお楽しみ。もうじきナイヤガラも食べごろ。スイカ・メロンの後は栗とブドウ、キノコも。楽しみは尽きません。

稲刈りも始まりました。家族総出の一大行事。台風被害がないことを祈っています。

## Q,佐久食肉センターの更新・HACCAP(ハサップ)対応などに12億8千万円かかるというのがその内訳は？

- A, 建物補修費用 3億5千万円  
 設備改修費用(冷蔵庫9千万円) 2億8千万円  
 浄化槽改修費用 4億5千万円  
 レール改修費用 2億円

\*一度の改修ではなく、緊急性の高い順に改修が可能。冷蔵庫の更新が最も緊急性あり。  
 規模の縮小は困難。ハサップ対応\*は作業工程ごとの洗浄消毒が必要で、2人の作業員の確保必要(約1千万円) \*原料を仕入れる段階から出荷時までの衛生管理の工程。21年6月1日までに完了が義務化。

## Q,国・県の補助メニューはないのか？

A,補助メニューの要件は、再編・統合や集荷から販売までの一体化、扱う頭数が一日当たり小動物換算で700頭(佐久は現在300頭)なので対象外。

\*現在のと畜場の維持更新のための補助メニューを作るべき。国・県に改善を要求すべき。コロナ禍で地産地消の推進、食料自給率向上からも国・県の支援必要。

## 町長の報酬を10%減額決定！

### 職員による交通事故の管理責任で

6月議会でコロナによる町民の経済の苦境を受け、町長は10%、副町長・教育長は5%の月額給与を減額(7~12月)。今回の決定でさらに町長・副町長は10%の減給に。

町長 544,800円/副町長 516,800円に。(月額)

昨年11月に交通事故で町民の死亡事故を起こした事件で9月14日に判決が下りたことを受け管理責任を取っての減額です。職員の処分については町の規定にのっとり対処する予定。

## 10/1から発売! 6,500円分を5千円で

コロナ流行第2波が続いている中、全国的にもGO TOキャンペーンが始まっており、9月の4連休にも多くの県外車が訪れ、感染への不安も高まっています。しかし、観光業・飲食業の落ち込みも回復されず、自治体によるテコ入れが必要となっています。

①たてしなプレミアム商品券発行...1枚500円の券13枚つづり(6500円分)を5千円で販売。最大一人5セットまで購入可。町商工会窓口で。中小企業向け券8枚と共通券5枚セット。10月1日から販売予定。

## 事業系ごみ収集、これまでと同様に。11月からごみ袋は1枚100円に値上げ

## Q,佐久のと畜場以外で、「蓼科牛」が守れるか？

- 佐久食肉センター/牛806頭(廃用牛200頭含む)・豚0頭 豚換算 3,224頭(昨年度)  
ブランド名 「蓼科牛」佐久浅間が商標登録  
販売/ニチレイフレッシュ
- 北信食肉センター/牛462頭・豚2,114頭  
豚換算 3,962頭  
ブランド名「しらかば若牛」販売/マルイチ産商
- 松本食肉センター 牛488頭 豚9,577頭  
豚換算 11,529頭  
ブランド名 「信州アルプス牛」販売/農協直販  
\*佐久のと畜場の方が松本よりも設備は新しい。

A 「蓼科牛」のブランドを持ってるJA佐久浅間を中心に行政や関係機関と連携をとって「信州蓼科牛」のブランドを守っていく。

## 議会で3つの意見書挙がる

①新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方税等財源の確保をもとめる意見書...新型コロナの影響であらゆる産業・個人が影響を受け、来年度の税収確保が困難となることが予想されます。地方交付税などの確保をもとめるもの。

②国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書

③義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

コロナ禍でクラスでの社会的距離を取るために少人数学級の実現と保護者負担の軽減が必要。

OECD 37か国で教育への公的支出は下から2番目。保護者負担は重く。「所得200~400万未満」の家庭で家計の37.5%。

<クラスの人数>

小学校 OECD21人/日本27人

中学校 OECD23人/日本32人

国の責任は重大!!

村田は②、③の陳情に対して賛成討論を行いました。



## 梨の木橋復旧に一步前進! 設計費・工事費2600万円



落下した梨の木橋

台風19号で護岸が流され落橋した梨の木橋。ようやく工法が確定し、測量委託料・工事費が予算化されました。

通学路でもあり、また八重原に抜ける重要な町道に掛かる橋であり、一日も早い復旧が待たれます。